



後期後半がスタートしました

校長 野尻 一裕

冬休みが終わり、子どもたちが元気に登校してきました。それぞれの教室では、冬休みの反省をしたり、取り組んだ作品や思い出を発表したりしていました。人気アニメの影響なのでしょう、剣の工作が目立つように感じました。また、この冬は感染症対策で「静かな正月」だったのかもしれませんが、「〇〇へ出かけた」という発表は少なく、家族団らんで楽しく過ごしたことがわかりました。多目的ホールでは冬休み作品展が行われており、冬休みに取り組んだ力作がずらりと並んでいます。じっくりと時間をかけて取り組んだ作品が目立ったのもこのような影響なのかもしれません。

今冬はスケートリンク作りに必要な降雪が遅く、リンクの造成に影響が出ました。グラウンドのリンクがオープンしたのは学校が始まった1月18日のことでした。例年であれば冬休み中にスケートの練習に励むところですが、授業が初滑りという子どもたちが多い状況でした。授業が始まって、前が見えにくいような降雪だったり、暖気で使用中止になったりと、ベストコンディションが続きません。それでも、放課後にも練習に励む子どもたちの姿を見ると、寒さに負けないたくましさを感じます。スケートで冬場の体力づくりを進めてもらいたいと思います。なお、今年度も、ボランティアの皆様にはスケート学習を支援していただいております。子どもたちのスケート技術の向上のため、どうぞよろしくお願いします。



さて、もうすぐ立春、今年はいつもより1日早い2月3日です。子どもたちはあと2ヶ月で進学・進級を迎えることになります。後期後半のこの時期、自分のめあてをもう一度確かめることが必要です。次の学年へのイメージを持ち、残り少なくなった日々をどう過ごすのかを考え、日々の努力を積み重ねて、春に備えてほしいと思います。どうぞ、家庭や地域でも励ましの声をかけてあげてください。

冬休み明け、子どもたちが「早寝早起き朝ごはん」など、規則正しい生活習慣で元気に登校してきています。感染症対策もしっかりと行っています。保護者の皆様にはご支援ご協力いただきありがとうございます。また、厳冬の中、子どもたちの登下校の安全を支えていただいている千歳っ子見守り隊の皆様、ありがとうございます。これからも、子どもたちの健康や安全が心配される時期が続きます。今年も子どもたちのために、職員一同力を尽くしてまいります。北陽小学校の教育活動に、保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬご理解とご支援をよろしくお願いします。

